

第 34 回合志市地域公共交通協議会

〔日時〕平成 27 年 7 月 28 日（火）午前 10 時～

〔場所〕合志市役所 合志庁舎 2 階大会議室

〔出席者〕藤井委員、緒方委員、森委員、藤園委員、西郷委員、塚本委員、原田委員、小田原委員、野田委員、山野委員、小森田委員、新居委員、片岡委員、富田委員、松野委員、牛島委員、輪内委員、溝上委員、金森委員、原委員、今村委員

〔代理出席〕県北広域本部 福田氏、合志市建設課 齋藤氏

〔欠席者〕寺本委員、重光委員、島川委員、林委員、

〔事務局〕濱田政策部長、澤田企画課長、牧野課長補佐、吉田主査

〔議題〕

- 協議 （１）レターバス・循環バス須屋線ダイヤ改正（案）について
（２）合志市地域公共交通網形成計画（案）について

〔会議の公開・非公開の別〕 公開

協議（１）レターバス・循環バス須屋線ダイヤ改正（案）について

～事務局から資料を説明～

藤井会長：何か意見、質問はないか。

原田委員：右回りについて早発防止の調整場所について、光の森駅、すずかけ台、再春荘病院と想っていたが、再春荘病院から御代志駅が調整場所になっているが。左回りは再春荘病院になっている。

小田原委員：まず、調整場所としては御代志駅が構内も広く、運行事業者としては御代志駅のほうが適している。

事務局：現行のダイヤも右回りについては御代志駅、左回りは再春荘病院としている。

原田委員：それならば、左回りも御代志駅を調整場所と統一しなければならないのではないか。

小田原委員：ここの御代志駅と再春荘病院間については、踏み切りがあり、また渋滞箇所でもあるため、右回りは時には再春荘病院から御代志駅までかなり時間がかかることがあり、そのため御代志駅を調整場所にとってある。運行事業者としては、統一しなくてもいいと考える。

溝上委員：ダイヤの改正のもとになったデータというのは、実際にバス停に到着した時刻が分かるバスロケとは現在こういった形なのか。

事務局：レターバスにスマートフォンを搭載しGPS位置情報を取得し、バス停を通過した時間をもとにしている。

溝上委員：どこにバスがいるのか分かるんですよね。予算が必要と思いますが、いつ来るか分かるならばその情報を提供してみてもどうか。

事務局：4月からバスロケいまココを導入している。周知については、今後とも図っていく。

溝上委員：また主要なバス停にはモニターを置き運行情報を流してみてもどうか。

事務局：検討していきたい。

藤井会長：他に意見もないようなので、レターバス・循環バス須屋線ダイヤ改正（案）についてご承認いただきたいが如何か。

各委員：承認

協議（2）合志市地域公共交通網形成計画（案）について

～事務局から資料を説明～

西郷委員：合志市は熊本電鉄が通っている。是非電車を活かした計画を検討していただきたい。

緒方委員：御代志駅から藤崎宮、上熊本駅を熊本電鉄が運行しているが、将来的に考え花畑界隈の開発により熊本市中心部の人の流れが変わると考えられている。上熊本駅に直接電鉄を乗り入れが可能にならないかと考えている。藤崎宮から市内中心や熊本駅に行くにしても距離があり、雨降りなどは不便さを感じる。そういった部分も考えていただきたい。

小田原委員：以前からも藤崎宮からの市内中心への延伸や上熊本駅での市電との結接に関してはコスト面も含め協議した経緯はある。鉄軌道をどう活かしていくか、熊本電鉄としても利便性の向上に繋がるため、出来る限り協力していきたい。また主体的に動いていきたい。

森委員：障がい者の運賃割引を検討してはどうか。

事務局：10月1日の運賃改定後も引き続き障がい者割引は適用していく。

塚本委員：元々LRT市民研究会では、熊本電鉄と市電との結接も研究をした。今後も都心結接、延伸も含めて考えていきたい。県のパーソントリップ調査で地域間での人の流動について、大部分は対熊本市との動きだが、菊陽町とも大きな動きがあることが分かっている。ただ、公共交通がないため流動の大半を占めるのは自動車であり、唯一の公共交通がレターバスでの流動になる。ただ、レターバスがこれだけ混み合うと、まずは、路線バスを朝夕中心に御代志と光の森の間に検討していただきたい。現在の自動車での動きから公共交通にシフトできるのではないかと考えられる。また、今回のレターバスのダイヤ改正は遅延解消のためだが、所要時間については他の地域のコミュニティバスは15分から40分が主で

ある。レターバスの時間は長すぎる。今後レターバス路線再編については、路線バスを含めた上での出来るだけルートを短く、利用者にとって多くの選択肢があるような再編をお願いしたい。

松野委員：市民の中の率直な意見やアイデアを多く出していただき、よく議論し面的な公共交通計画の策定を目指していただきたい。

溝上委員：本当は立地適正化計画と同時にやっていただきたいが、今回は公共交通網形成計画を先にやられるというのであれば、これまでの合志市が検討してきた土地利用計画について、統一性がないため過去のどの計画に合わせていくのか分からない。現在合志市の人口は増えているが、長い目でみれば将来は人口減少に向かう。立地適正化計画は多極ネットワーク型コンパクトシティがキーワードとなっており、都市機能誘導区域と居住誘導地域を明確化し、適正な場所に適正な人口を集めることを想定し、その将来像を想定した土地利用計画に合わせた交通網の計画を策定しなくてはいけないので、今後土地利用と交通計画が相違しないよう注意してほしい。また、今は地域公共交通の考えがどうしてもその自治体内だけで完結していることが多いので、他の周辺市町への乗入れ可能なコミュニティ交通も考えていく必要がある。

藤井会長：他に意見等ないようなので、合志市地域公共交通網形成計画（案）についてご承認いただきたいが如何か。

各委員：承認

以上